

## 雨水処理に係る完了検査に当たっての注意点

- 完了検査は雨水流出抑制施設について、申請書の内容および申請図面通りに設置されているかを現地で確認するものです。

〈現地確認可能なもの〉

雨水流出抑制施設の寸法等を確認します。

〈現地確認不可能なもの（地下埋設物）〉

地下埋設式の雨水流出抑制施設で、現地確認不可能なものについては、施工時の写真によって確認します。なお、検査当日、写真確認が出来ない場合は、検査は実施いたしません。

写真の撮影にあたっては、必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこみ、不可視となる出来形部分については、出来形寸法が確認できるよう特に注意して撮影してください。（施工写真の一例 P.3、撮影例 P.4）

～検査の流れ～

①説明

申請書の副本に基づき、全体の概要、雨水流出抑制施設及び排水計画等について説明してください。

②雨水流出抑制施設等の確認

雨水流出抑制施設等について、現地もしくは写真を確認します。現場の案内や寸法の測定等をお願いします。

③講評

検査の結果について、講評を行います。

検査の結果、問題がある場合は是正の指示を行います。

是正後の再検査については、原則写真にて確認します。現地是正後に写真撮影を行い、他是正資料等の持参の上、担当課窓口に提出をお願いします。

## ○検査内容・方法の詳細

～検査の流れ～「②雨水流出抑制施設等の確認」について

### 【開発区域内の集水に関する事項】

◇開発区域内の雨水が適切に雨水流出抑制施設へ集水されるか確認します。

- ・土地の勾配によって、側溝や集水溝に雨水が集水されるか。
- ・建物からの雨水管が排水経路へ適切に接続されているか。
- ・隣地境界部はブロックを立ち上げる等、雨水が直接流出しない様になっているか。
- ・敷地出入口について、横断側溝や勾配調整で敷地外に雨水が直接流出しないようになっているか。

### 【雨水流出抑制施設に関する共通事項】

◇検査準備として、事前にますの蓋は全て開けておくようにしてください。

◇施設の寸法が申請図面通りであるか、測って確認します。

- ・施設の延長、幅、高さは申請図面と合っているか。
- ・流入管、放流管、オリフィスの位置や寸法は申請図面と合っているか。
- ・施設の流入口、出口、最終柵等に計画通りに防塵金物の設置がされているか。

◇雨水施設の流入・流出の確認をします。

◇施設の計画高水位がどの位置になるか確認します。

◇オーバーフロー管がある場合は、施設の計画高水位より上に設置されていることを確認します。

### 【放流先への排水に関する事項】

◇放流管と放流先の水路等との高さを確認し、適切に排水できるか確認します。

◇フラップゲートの計画がある場合、設置の有無を確認します。

◇ポンプ排水の場合、ポンプの仕様が許容放流量内であるか確認します。

- ・申請書の内容及び申請図面通りにポンプが設置されているか、写真で確認します。

### 【貯留施設に関する事項】

◇施設内に容量を阻害するものがないか確認します。

◇施設底面に、排水を速やかにするための勾配が設けてあるか確認します。

◇吐口が放流先に接続されていることを確認します。

◇雨水貯留槽については、検査前までに内部の雨水の吐出しを行ってください。

### 【浸透施設に関する事項】

◇施設が地下水位から 50cm 以上離して設置されているか、写真・ボーリングデータ等で確認します。

- ・施設の設置高は申請図面通りになっているか。

- ・掘削時、地下水が出て雨水浸透施設を浸す場合は工事を一時止め、担当課まで必ず連絡すること。設置後、現地確認および写真等で施設内に浸水が確認された場合、開発行為の検査に不適合となり、是正が必要となります。

**【地下埋設物に関する事項】**

- ◇地下ピット、浸透ます、浸透トレーニング、二次製品等は、施工時の写真によって検査を行います。
- ◇施工時の写真は、全ての雨水流出抑制施設の施工段階ごとに写真を撮影する必要があります。なお、施設の構造や寸法の確認がとれない場合、是正（再撮影等）が必要となりますのでご注意ください。施工段階写真の一例は以下のとおりです。
- ◇地下ピットの場合、施設の構造について確認します。
  - ・各ピット間で水が適切に移動できるか。
  - ・各ピットの計画高水位以上に通気口があるか。

〈施工段階写真の一例〉

工程番号	工程	撮影ポイント
1	施工前	工事場所が良く分かるように
2	施設材料	使用する材料ごとに撮影
3	掘削工	掘削辺の幅（縦・横）、深さが確認できるように
4	敷砂工	高さ（h1）が確認できるように
5	透水（遮水）シート敷設工	底面と側面に敷いているか分かるように
6	充填材敷詰（雨水流出抑制施設の下部） ※貯留施設の場合は省略可	施設設置前・設置後の幅（B）・奥行き（L）・高さ（h）が確認できるように
7	雨水流出抑制施設の設置工	設置物が確認できるように。
8	充填材敷詰（雨水流出抑制施設の上部） ※貯留施設の場合は省略可	施設上面の幅（B）・奥行き（L）、現況高さ（h1）が確認できる状況
9	透水（遮水）シート巻込工	施設上面を透水シートで覆っている状況
10	埋戻工	引き目に撮影し、工事場所がよく分かるように

※ 雨水流出抑制施設の構造によっては 10 段階以上の写真を求める場合があります。

※ 各工程において、近距離及び遠距離で撮影したもの 2 種類を提出してください。

※ 撮影内容等については、撮影例を P.4 に掲載します。

不明点がある場合、工事着手前に担当課まで相談してください。

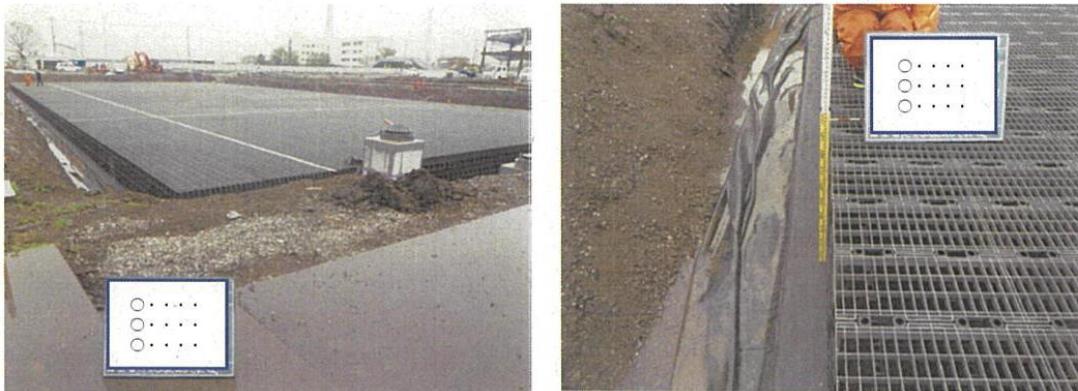
〈写真撮影枚数について（例）〉

浸透ます 5 箇所、浸透トレーニング 5 箇所（計 10 施設）を埋設した場合

10 施設 × 10 工程 × 2（遠距離・近距離）＝計 200 枚の写真が必要となります。

## 【地下埋設物の施工時写真撮影（例）】（施設の寸法の確認）

＜全景＞施設の全体を測っている様子がわかるように撮影してください。



＜近景＞始点、終点や目盛の数字がわかるように撮影してください。

